

包括の時期におけるキリストを経験し、享受し、供給する

聖書：出 30:22-25. 使徒 13:33. I コリント 15:45 後半. I ペテロ 1:3.

ローマ 5:10. 詩第 23 篇

I. キリストの満ち満ちた務めの第二の時期は包括の時期であり、彼の復活から召会の墮落までです：

- A. 肉体と成った時期は、キリストの第一の「成った」の時期、彼が肉体と成った時期でした——ヨハネ 1:14。
- B. 包括の時期は、キリストの第二の「成った」の時期、彼が命を与える霊と成った時期です——I コリント 15:45 後半。
- C. わたしたちが「包括」(inclusion) という言葉を使うのは、「含む」(inclusive) という言葉を使うのに基づいています。キリストが最後のアダムとして、命を与える霊と成ることは、彼がすべてを含む霊と成るためでした——ピリピ 1:19. 出 30:22-25. 参照、創 17:1。

II. 包括の時期におけるキリストの務めは、わたしたちの霊の中の命を与える霊としての、復活における彼の務めです。復活は神聖なエコノミーにおける命脈、また生命線です——I コリント 15:12-19, 31-36, 45-49, 54-58：

- A. もし復活がないとしたら、神は死んだ者の神であって、生きた者の神ではなかったでしょう——マタイ 22:32。
- B. もし復活がないとしたら、キリストは死人の中から復活させられなかったでしょう。そうであれば彼は死んだ救い主であって、生きた救い主ではなかったでしょう。しかし彼は永遠にわたって生きており (啓 1:18)、極みまで救うことができます (ヘブル 7:25. ローマ 5:10)。
- C. もし復活がないとしたら、わたしたちが彼の死によって義とされたという生きた証拠はなく (4:25)、命の分け与えはなく (ヨハネ 12:24)、再生はなく (3:5)、更新はなく (テトス 3:5)、造り変えはなく (ローマ 12:2. II コリント 3:18)、キリストのかたちへの同形化はなかったでしょう (ローマ 8:29)。
- D. もし復活がないとしたら、キリストの肢体はなく (12:5)、その豊満としてのキリストのからだはなく (エペソ 1:20-23)、キリストの花嫁としての召会はなく (ヨハネ 3:29)、それゆえ新しい人はなかったでしょう (エペソ 2:15. 4:24. コロサイ 3:10-11)。
- E. もし復活がないとしたら、神の新約エコノミーは完全に崩壊し、神の永遠の定められた御旨は無効にされていたでしょう——使徒 13:33. I ペテロ 1:3. I コリント 15:45 後半. コロサイ 1:18。

III. わたしたちは神のエコノミーの究極の目標のために、包括の時期におけるキリストの復活の明らかにされた真理を見て、その中に入り込む必要があります：

- A. 復活の中で、キリストは神の長子として生まれました——使徒 13:33：
 - 1. 始まりのない永遠の過去から、キリストは神のひとり子であって、神性だけを所有していて、人性はなく、死を経過して復活の中に入っていないませんでした——ヨ

ハネ 1:18。

2. 肉体と成ることにおいて、神のひとり子は肉体と成って、神・人、すなわち、神の性質と人の性質を所有する人と成りました。
 3. 死と復活を通して、ダビデの子孫としての肉体におけるキリストは、神の長子と定められました——ローマ 1:3-4 :
 - a. 死の中で、彼の人性は十字架につけられました—— I ペテロ 3:18。
 - b. 復活の中で、彼の十字架につけられた人性は、彼の神性の霊によって生かされ、神のひとり子の子たる身分へと引き上げられました。こうして、彼は復活の中で神によって生まれて、神の長子となりました——ローマ 8:29。
- B. 復活の中で、キリストは命を与える霊と成りました—— I コリント 15:45 後半 :
1. 命を与える霊は、キリストの復活の前、すなわちキリストが栄光を得る前は「まだなかった」のです——ヨハネ 7:39。
 2. キリスト、神の御子は、神聖な三一の第二として、地上での彼の務めを完成した後、彼の復活の中で命を与える霊と成り（変貌し）、彼の人性の殻の中に隠されていた神聖な命を解き放ち、それを彼の信者たちの中に分与して、彼らを彼のからだを構成する多くの肢体としました—— 12:24. 参照、19:34。
 3. この命を与える霊は、霊なるキリストであり、以下のものとも呼ばれます :
 - a. 命の霊——ローマ 8:2。
 - b. イエスの霊——使徒 16:7。
 - c. キリストの霊——ローマ 8:9。
 - d. イエス・キリストの霊——ピリピ 1:19。
 - e. 主なる霊——II コリント 3:18。
- C. 復活の中で、わたしたち、神の選ばれた者は再生されました—— I ペテロ 1:3 :
1. 霊なるキリストは神の長子となり、命を与える霊と成って信者たちを再生し、彼らを彼と共に一つの大きな宇宙的出産の中で、神から生まれた神の多くの子たちとしました。
 2. 神の長子と、キリストの復活における神の多くの子たちのこの大いなる誕生は、神の家の構成のため、またキリストのからだを構成して、彼の豊満、彼の表現また拡張とならせ、手順を経て究極的に完成された三一の神の永遠の表現また拡張を、究極的に完成するためです——エペソ 1:23. 3:19. 啓 21:10-11。
 3. キリストのすべての信者は、一つ霊の中で、キリストの一つからだの中へとバプテスマされて、この霊を飲むようにされました—— I コリント 12:13。
 4. キリストは復活の中で、神の言葉を語ることを通して、すべてを含む、命を与える霊としてのご自身を限りなく与えます——ヨハネ 3:34。
 5. キリストにあるすべての信者は、彼らの霊の中にある神の住まいへと建造されます。彼らの霊の中にはその霊としての彼が住んでおり（エペソ 2:22）、この建造は彼の有機的な救いの手順を通してです（ローマ 5:10）。すなわち、性情の聖別（15:16）、更新（テトス 3:5）、造り変え（II コリント 3:18）、同形化を通して（ローマ 8:29）、栄光化へと至ります（ピリピ 3:21）。

IV. わたしたちは霊なるキリストによって、すなわち命を与える霊であるキリストによっ

て、彼の有機的な救いをもって、諸召会を設立し、牧養する必要があります：

A. 主イエスは使徒の務めをご自身の天の務めと合併して、神の群れを顧みています。
それは召会であり、その結果キリストのからだをもたらします——ヨハネ 21:15-17.
使徒 20:28. I ペテロ 5:2. I コリント 15:58. 参照、創 48:15-16 前半。

B. 霊なるキリストの牧養には、五つの段階があります——詩第 23 篇：

1. 緑の牧場としてのキリストと、憩いの水としてのその霊を享受する—— 2 節。
2. 義の道において回復され、造り変えられる—— 3 節。
3. 死の影の谷を歩いているとき、復活した霊なるキリストを経験する—— 4 節。
4. 敵と戦っているとき、復活したキリストをさらに深く、さらに高く享受する—— 5 節。
5. エホバの家で、神聖な良きものと慈愛を生涯にわたって享受する。これは神の永遠のエコノミーの究極の目標です—— 6 節。